

役員立候補者等公示

公示番号 ー 14

立候補役職名	全道理事			
(ふりがな)	やまぐち じゅん	性別	生年月日	年齢
氏名	山口 潤	男	1972年12月15日	48 歳
勤務先名	大樹町役場（大樹町老人デイサービスセンター）			
会員番号	3 5 2 3 7	市町村	大樹町	十勝地区支部
主な活動歴	H17年～施設職員によるボランティア団体「和の花」設立し、在宅高齢者の支援に入る。H28年～南十勝連携の会「こみっと」を設立し、保健医療福祉に関わる専門職の勉強会等を実施し、地域福祉を盛り上げてきた。 H18年～十勝老人福祉施設協議会介護部会長や北海道老人福祉施設協議会研修部員、デイ部会役員等にて介護現場の研修の機会を計画してきた。 H26年～北海道社会福祉士会十勝地区支部役員、H29年～北海道社会福祉士会理事（災害対策委員長）			
立候補理由・抱負	2017年から2期災害対策委員長を拝命させていただきました。胆振東部地震の際には初動期から個別支援と地域支援を重層的な支援の構築に努めました。支援に入ってくれた会員の皆様からは日々変化していく「答えのない支援を模索し続ける事に社会福祉士としての高い専門性」を実感しました。 今後も広い北海道においては被災地域を支え合う平時からの体制整備の必要性を感じており、他団体との連携も踏まえ、高い専門性を発揮し支援に入りやすい環境を整えていきたいと考えています。 また、社会福祉士としての倫理についても強く考えさせられており、会員の皆さんにとって誇れる会へと更に発展した取り組みが実現できるよう、道民の皆さんの社会の安全に寄与できるよう立候補を決意いたしました。			
推薦者 1	東村 智之	会員番号	3 2 5 2 3	十勝地区支部
推薦理由	2016年、十勝地区の南部（南十勝）の保健、医療、福祉関係者が集まり、地域の福祉増進を目指す「南十勝連携の会（こみっと）」が発足。初代代表に就任したのが、山口潤会員です。「これまで事業所間の連携は少なく、仕事上の悩みや疑問を共有できる場がない」という声や実感を仲間と共に共有しながら、準備を進め立ち上げた本会。当初30人規模を想定していた会員は、数週間で70名を超え、地元紙でも大きく取り上げられました。地域の課題を論ずること、捉えることは出来る。しかしそれを、具体的な地域資源として創出することは簡単に出来ることはありません。山口潤会員はそれを仲間と共に成し遂げたのです。その後北海道社会福祉士会理事に就任、災害対策委員会委員長として北海道や関係諸団体と協働、「北海道災害福祉支援ネットワーク」発足に向けた礎を築いてきました。私たち社会福祉士は「コミュニティソーシャルワーカー」です。コンパクトなエリアの中で地域の実情やそこで活動する仲間の想いを捉えながら活動を創りつつ、北海道全域での取り組みに昇華してきた山口潤会員の視点や経験は、本会の活動を一層充実させていくものと確信しております。			
推薦者 2	金石 輝義	会員番号	3 0 6 1 7	十勝地区支部
推薦理由	この度推薦させていただきます山口 潤氏は、利用者の尊厳と自立を念頭に強い信念を持っており、実直な人柄で周囲からの人望も厚いです。山口氏の声掛けにより発足した、南十勝の多職種がつながり、資質向上を目的とした「南十勝連携の会」の会長を担っており、近隣町村にまたがり活躍をされております。災害対策委員として、北海道胆振東部地震の際にも、支援はもちろんのこと、今後の災害時の課題や対策などにも積極的に取り組み、社会福祉士に求められるスキルを常に率先し、自己研鑽している所は本当に感心させられます。この人なら、今後の北海道社会福祉士会の活動に大いに貢献できると思い、理事に推薦します。			
推薦者 3	大林 将秀	会員番号	3 2 3 3 0	十勝地区支部
推薦理由	山口候補は、自事業所の生活相談員として相談業務に携わるだけではなく、南十勝の介護・医療連携団体「こみっと」、ボランティア団体「和の花」を創設するなど、地域福祉の推進を積極的に進めています。また、社会福祉士会十勝支部において社会福祉士の受験生支援を行うほか、介護福祉士養成校での講義や実習の受け入れも学生から好評を得ており、社会福祉士に限らず福祉全般を見据えた専門性や組織化の構築に尽力しています。山口候補については、来期も実践・行動力を発揮していただけると考え、理事に推薦いたします。			